

編集後記

技報第5号をお届けいたします。

今回の巻頭言は、東京大学建築学科の加藤先生にお願いしました所、御多忙のおり特に正月休みに御執筆いただきありがとうございました。社会資本財の生産にたずさわる者の業務には、社会背景が反映しており、社会環境の変遷とともに、技術と構造物が発展してきていることを再認識しました。また新しい時代には、その時の要望があること、それに応える技術と構造物を提供する必要があることを学びました。誌面を借りてお礼申し上げます。

当社は昨年創業80周年を迎えました。創立以来築き、伝達してきました技術は、今号で第5号を迎えるこの技報の一編一編の中に書留められています。その意味で私達は今からまた新しい技術を開拓し、知識を吸収して後輩への情報として記録に留めていかなければならないと痛感しております。

今号も若い技術者の執筆がありました。初めての執筆ということで、大変苦勞されたかと思えます。これからも新しい執筆者が増えてゆくことを編集委員一同期待しております。

本号では編集委員の異動があり、木越委員から滝戸委員に交替しました。

昭和も終り新しい時代となりました。時代の変化に応じた技報の編集に努力してゆきたいと思えます。

技報編集委員会

委 員 長	高 野 祐 吉						
副 委 員 長	小 塚 義 夫						
委 員	伊 木 達 治	伊 東 孝	菊 地 隆 三				
	椎 名 薫	高 橋 亘	滝 戸 勝 一				
	永 井 英 司	能 登 宥 愿	原 昭 恵				
	三 木 茂 喜	清 水 功 雄*	宮 坂 睦 夫*				

* 印 事務局兼務

宮地技報 第5号

発行日 平成元年2月25日
発行所 株式会社宮地鐵工所
〒103 東京都中央区日本橋小伝馬町15番18号
(日本橋SKビル) TEL 03 (639) 2111(代)
印刷所 三好印刷株式会社